

資料

大学体育実技授業が卓球のストローク技術に及ぼす効果

福永 哲夫

The Effect of the School of Table Tennis on the Stroke Skills

Tetsuo Gukunaga

Abstract

The percentage of table tennis strokes failed in continuous practice of 20 or 50 rallies with forehand and backhand strokes was estimated as the skill test of table tennis (R-Test).

The percentage of strokes failed at R-Test in physical education class decreased from 23–23% to 11–15% through university school period (April to September). It is considered that the physical education class at university is useful for the table tennis to become skillful.

大学体育実技授業が卓球のスキルに及ばず効果を見たこれまでの報告¹⁾では約13週間にわたる1学期間の授業によって、ストロークミスが減少する傾向がみられた。

本研究ではこの報告と同じ方法によって卓球授業を実施した時のスキルの変化を見ようとするものである。

方法

授業は1987年度2・4学期(1987年10月-1988年2月)に実施され、対象となった授業クラスは2学年1クラス46名、1学年2クラス(夫々48名)であった。授業内容はほぼ前報¹⁾と同じであった。卓球のスキルを見るためのテストとして、前報¹⁾と同じラリーテストを行った。

結果と論義

ラリーテストでのミス率を表1-3に示した。授業開始当初はミス率は約23%から33%を示した。この結果は前報¹⁾の結果(授業開始時のミス率平均30%)ともよく一致した。図1-3は各クラスに見られる授業にともなうラリーミス率の変化を見たものである。何れのクラスにおいても授業が進むにともなってミス率が減少する傾向が見られた。授業開始時と約15回の授業終了時とでミス率を比較するために、授業開始時のミス率を100%とすると、終了時のミス率は木曜4限のクラスでは34%、土曜2限では50%、そして、月曜3限では54%となり、何れのクラスにおいてもラリーミスは始めの約1/3から1/2に減少する傾向がみられた。前報¹⁾でラリーミスの少ないものほどシングルの

表1 月曜3限2年生の卓球授業に伴うラリーミス率の変化

授業実施日	学生数	平均値 (%)	標準偏差 (%)	標準誤差 (%)	変動係数
11月 2日	42	23.45	15.24	2.35	0.64
9日	46	22.22	13.49	1.99	0.60
16日	45	16.64	12.76	1.90	0.76
30日	39	21.89	13.86	2.22	0.63
12月 7日	44	13.66	10.36	1.56	0.75
14日	42	16.43	12.01	1.85	0.73
21日	39	14.67	11.13	1.78	0.75
1月25日	44	12.45	10.91	1.64	0.87
2月 1日	45	12.82	10.18	1.52	0.79

表2 木曜4限1年生の卓球授業にともなうラリーミス率の変化

授業実施日	学生数	平均値 (%)	標準偏差 (%)	標準誤差 (%)	変動係数
10月29日	48	33.23	15.96	2.30	0.48
11月 5日	30	19.70	16.11	2.94	0.81
12日	44	22.80	14.01	2.11	0.61
19日	48	21.67	11.61	1.67	0.53
26日	48	17.19	11.48	1.66	0.66
12月10日	39	17.46	11.56	1.85	0.66
17日	47	18.47	11.68	1.70	0.63
1月14日	46	11.50	8.72	1.28	0.75

表3 土曜2限1年生の卓球授業に伴うラリーミス率の変化

授業実施日	学生数	平均値 (%)	標準偏差 (%)	標準誤差 (%)	変動係数
10月30日	46	29.35	12.59	1.86	0.42
11月 7日	45	22.67	11.95	1.78	0.52
14日	31	20.35	11.49	2.06	0.56
28日	40	19.75	10.04	1.59	0.50
12月 5日	41	19.31	12.15	1.90	0.62
12日	43	16.79	13.48	2.06	0.80
1月16日	44	13.98	9.03	1.36	0.64
30日	46	14.80	9.95	1.47	0.67

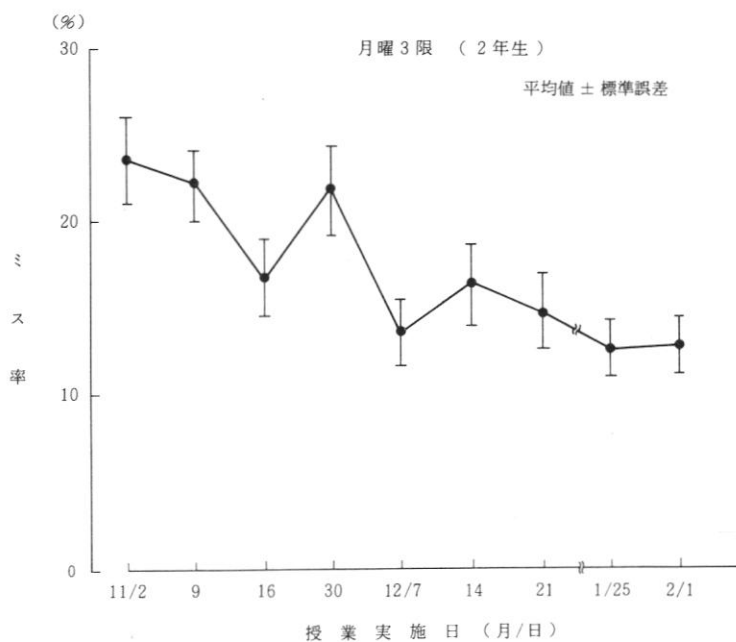


図1 卓球授業実施にともなうストロークミス率の変化

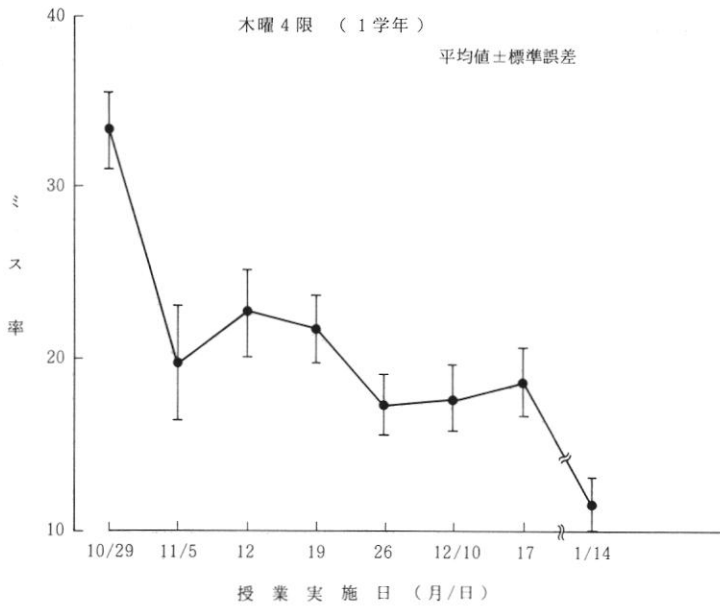


図 2 卓球授業実施にともなうストロークミス率の変化

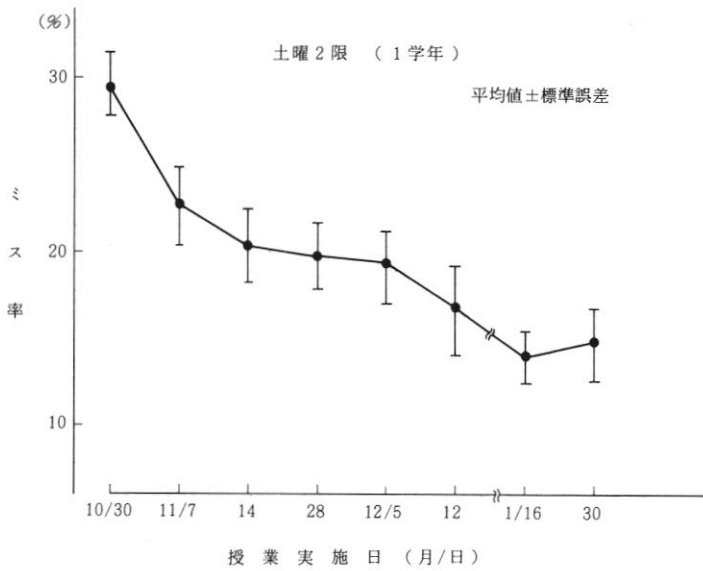


図 3 卓球授業実施にともなうストロークミス率の変化

試合の成績が良い結果が得られていることから、本研究での卓球授業の結果は平均的にみて卓球のゲーム能力の向上を引き起こしたものと考えられる。

引用文献

- 1) 福永哲夫：大学体育実技授業（卓球）が運動スキルに及ぼす効果，東京大学教養学部体育学紀要 22，49-55，1988.